

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部西山町事務所市民窓口係	事業No.	228
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	西山町事務所庁舎管理費						
2	負担割合	7%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	-						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～					
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ					
		細節	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する					

7	事業目的	行政コストを削減し、機能的な行政組織の実現を図る。						
8	平成 29 年度の実績	庁舎管理委託（清掃・空調設備点検清掃・貯水槽等点検・消防用設備点検・庁舎警備・自動ドア・自家用電気工作物保安管理等）、修繕（非常用照明等）						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	専門的知識を必要とする業務を委託することで行政運営の効率化と市民サービスを向上することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	13,654	12,383	13,228
		決算額	10,940	11,291	
12	当該事業に係る人件費	2,275 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：事務所が存続する間は必要である。
		廃止	不可	理由：事務所が存続する間は必要である。
		他事業と統合	不可	理由：事務所が存続する間は必要である。
		委託化	不可	理由：専門的業務は業務委託で実施している。
		補助金化	不可	理由：市の庁舎であるため不可である。
		民間実施	不可	理由：市の庁舎であるため不可である。
14	課題・今後の方向性	今後も、事務所が存続する限りは必要である。		
15	担当課の評価	継続	事務所が存続している間は必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部西山町事務所市民窓口係	事業No.	235
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	パスポート発給事務費（西山町）					
2	負担割合	4%					
3	対象者数	38名（申請件数）					
4	根拠法令等	旅券法					
5	法定受託事務等の区分	県等から移譲されている事業					
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～				
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ				
		細節	⑥-3-1 自治機能を強化する				

7	事業目的	パスポート申請受付及び発給による住民サービスを図る。					
8	平成 29 年度の実績	38名（申請件数）					
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値
		-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値
		-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	パスポートの申請受付及び発給をし住民サービスに貢献することができた。					

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	8	8	8
		決算額	1	3	
12	当該事業に係る人件費	1,300 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由： 県から移譲されている事業のため必要である。
		廃止	不可	理由： 県から移譲されている事業のため必要である。
		他事業と統合	不可	理由： 統合できる他事業がないため必要である。
		委託化	可	理由： 委託化は可である
		補助金化	不可	理由： 県から移譲されている事業のため不可である
		民間実施	不可	理由： 県等から移譲されている事業のため不可である。
14	課題・今後の方向性	事務所の存続と関連して検討する必要がある。		
15	担当課の評価	継続	地域住民の住民サービスのため必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部西山町事務所市民窓口係	事業No.	263
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	いきいき館施設整備費	
2	負担割合	2%	
3	対象者数	13,955人（施設利用者数）	
4	根拠法令等	西山町いきいき館設置及び管理に関する条例及び施行規則	
5	法定受託事務等の区分	その他	
6	第五次総合計画との整合性	章	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
		節	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
		細節	③-1-1心と体の健康づくりを進める

7	事業目的	いきいき館の施設整備を行い利用者が安心安全に利用できる施設の整備を図る。						
8	平成29年度の実績	空調設備（GHP1系統）入替え、電話設備（交換機）更新						
9	評価指標	指標1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成29年度の成果	施設整備を改修することにより、利用者が安心して利用することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	500	13,296	23,000
		決算額	982	10,006	
12	当該事業に係る人件費	650 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：いきいき館が存続する間は必要である。
		廃止	不可	理由：いきいき館が存続する間は必要である。
		他事業と統合	不可	理由：いきいき館が存続する間は必要である。
		委託化	不可	理由：指定管理施設であるため不可である。
		補助金化	不可	理由：指定管理施設であるため不可である。
		民間実施	不可	理由：指定管理施設で運営中のため不可である。
14	課題・今後の方向性	福祉・保健センターである。市町合併時には西山町事務所（当時：福祉保健課）の事業として残ったが、事務所内の課・係の統廃合もあり、業務的に本庁担当課に引継ぎを検討する必要がある。		
15	担当課の評価	一部見直し	事業的に所管課を変更する必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部西山町事務所地域振興係				事業No.	779
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	西山町産業会館管理費						
2	負担割合	4%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	西山町産業会館設置及び管理に関する条例及び施行規則						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める					

7	事業目的	産業振興や地域医療の拠点となる施設の施設管理を行う。						
8	平成 29 年度の実績	施設管理に要する光熱水費や空調機器、警備、消防設備、除草業務などを業務委託						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	利用者が安心して使用することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	1,833	1,805	2,068
		決算額	1,577	1,705	
12	当該事業に係る人件費	1,040 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：入居者（西山ふれあいクリニック、西山町商工会など）がいる間は必要である。
		廃止	不可	理由：入居者（西山ふれあいクリニック、西山町商工会など）がいる間は必要である。
		他事業と統合	不可	理由：施設の管理や運営に要する費用のため、統合は困難である。
		委託化	不可	理由：専門的業務は業務委託で実施している。
		補助金化	不可	理由：市有財産であるため不可である。
		民間実施	不可	理由：市有財産であるため不可である。
14	課題・今後の方向性	西山町地区における内科の医療機関や商工会などへ貸し付けていることから、継続して管理をする必要がある。		
15	担当課の評価	一部見直し	事業的に所管課を変更する必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部西山町事務所地域振興係	事業No.	786
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	海水浴場等施設管理費（西山町）					
2	負担割合	5%					
3	対象者数	236,600人（海水浴客数）					
4	根拠法令等	-					
5	法定受託事務等の区分	その他					
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～				
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ				
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する				

7	事業目的	「海の柏崎」の魅力を高めるために安心安全で快適な海水浴場等の環境整備を図り、観光客の誘致を目指す。					
8	平成 29 年度の取組内容・実績	海岸の清掃や公衆トイレ・駐車場等の管理運営及び水難防止用安全ブイの設置や監視活動等を観光協会に委託して環境整備や海水浴客の安全確保を図った。					
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値
		-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値
		-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	「海の柏崎」の魅力を高めるために安心安全で快適な海水浴場等の環境整備により、約 23 万人の誘客を得ることができた。					

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	14,299	22,677	13,999
		決算額	13,059	21,180	
12	当該事業に係る人件費	1,300 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：海の柏崎であることから、海水浴客の安全対策として必要である。
		廃止	不可	理由：海の柏崎であることから、海水浴客の安全対策として必要である。
		他事業と統合	不可	理由：施設の管理や運営に要する費用のため、統合は困難である。
		委託化	不可	理由：専門的業務は業務委託で実施している。
		補助金化	不可	理由：市有財産であるため不可である。
		民間実施	不可	理由：市有財産であるため不可である。
14	課題・今後の方向性	施設が老朽化してきているので、改修費用が増加していくことが課題である。観光資源である海水浴場を管理運営する事業をなくすことはできないため、施設の改修等を計画的に進めていく必要がある。		
15	担当課の評価	一部見直し	事業的に所管課を変更する必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部西山町事務所地域振興係				事業No.	790
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	西山ふるさと公苑整備費						
2	負担割合	2%						
3	対象者数	36,917人（来館者数）						
4	根拠法令等	西山ふるさと公苑設置及び管理に関する条例及び施行規則						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する					

7	事業目的	施設改修により、機能向上及び来館者の利便性向上による誘客促進を図る。						
8	平成 29 年度の実績	経年劣化で破損していた西遊館の外壁、木製建具等の塗装補修及び西山ふるさと館の空調設備（2系統）の入替えを行った。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	空調設備の入替え及び、案内看板用照明器具を改修したことにより、機能向上及び来館者の利便性向上による誘客促進を図ることができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	54,900	16,503	3,900
		決算額	54,786	16,470	
12	当該事業に係る人件費	520 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：西山町地域の拠点施設であることから、存続は必要である。
		廃止	不可	理由：西山町地域の拠点施設であることから、存続は必要である。
		他事業と統合	不可	理由：施設の管理や運営に要する費用のため、統合は困難である。
		委託化	不可	理由：市有財産であるため不可である。
		補助金化	不可	理由：市有財産であるため不可である。
		民間実施	不可	理由：市有財産であるため不可である。
14	課題・今後の方向性	施設の経年劣化が進んでいるため、今後も計画的な施設整備をする必要がある。		
15	担当課の評価	一部見直し	事業的に所管課を変更する必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：西山町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部西山町事務所地域振興係	事業No.	796
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	雪割草保護関係経費	
2	負担割合	1%	
3	対象者数	15人（雪割草保護監視員数）	
4	根拠法令等	雪割草保護条例	
5	法定受託事務等の区分	その他	
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

7	事業目的	雪割草の保護と増殖を図り、雪割草を普及すること。						
8	平成 29 年度の実績	保護地域である西山町の石地・尾町・大津・浜忠・甲田地区から各2名、大崎地区から5名の計15名の雪割草保護監視員を委嘱し、雪割草の保護監視活動を行った。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	6 地区 15 名に監視員を委嘱し、監視活動を行ったところ、盗掘等は発見されず、雪割草を保護することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	485	762	762
		決算額	480	759	
12	当該事業に係る人件費	260 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	一部可	理由：平成 21 年 1 月以降は、盗掘事例が無く、一定の成果を上げたと判断できるため、監視活動の休止は可能である。
		廃止	一部可	理由：平成 21 年 1 月以降は、盗掘事例が無く、一定の成果を上げたと判断できるため、監視活動の廃止は可能である。
		他事業と統合	不可	理由：特異な事業であり、統合は困難である。
		委託化	不可	理由：専門的業務は業務委託で実施している。
		補助金化	不可	理由：雪割草保護計画に基づく業務であることから、委託が適当である。
		民間実施	不可	理由：業務委託で実施済みのため不可である。
14	課題・今後の方向性	これまでの業務を継続しつつ、今年度野生種雪割草保護活動業務委託を新設したことで、更に本事業を推進する。		
15	担当課の評価	一部見直し	事業的に所管課を変更する必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：シティセールス）

担当部署名（部・課・係名）	総合企画部元気発信課定住促進係	事業No.	117
---------------	-----------------	-------	-----

1	事業名	柏崎シティセールス推進事業					
2	負担割合	25%					
3	対象者数	-					
4	根拠法令等						
5	法定受託事務等の区分	その他					
6	第五次総合計画との整合性	章	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～				
		節	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ				
		細節	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える				

7	事業目的	当面の行動として「U I ターンの促進」、「交流・活動人口増加の促進」、「若者の地元定着」を図り、最終的には定住人口を増加させる。						
8	平成 29 年度の実績	・シティセールス推進官の専門的助言等の下で「柏崎市移住・定住推進行動計画」の策定作業を進めた。 ・シティセールス推進協議会と連携し、柏崎ファンクラブ会員の拡大に取り組んだ。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		柏崎ファンクラブ会員	人	1,225	3,608	-	10,000	30
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		Uターンの促進	人	-	688	-	723	33
10	平成 29 年度の成果	・平成 30 年 3 月に柏崎市移住・定住推進行動計画を策定した。 ・柏崎ファンクラブ会員を 3,608 人まで拡大することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	19,188	19,421	34,121
		決算額	18,071	21,041	
12	当該事業に係る人件費	6,500 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：出身者など市外からの協力は必要不可欠なため。
		廃止	不可	理由：出身者など市外からの協力は必要不可欠なため。
		他事業と統合	不可	理由：分野横断的な取組であるため統合は馴染まない。
		委託化	一部可	理由：協議会運営に委託の余地があると考え。
		補助金化	不可	理由：自主財源確保策の検討段階であるため。
		民間実施	不可	理由：主体と財源の確保の観点から現段階では難しい。
14	課題・今後の方向性	・柏崎ファンクラブを核とした自主財源確保策を研究し、民間主導の協議会運営による多角的な取組へと拡大を図りたい。 ・産業振興分野に係る事業は、適切な事業所管課での実施により、高い効果を期待できる。（地場産品等販路開拓事業、柏崎版DMO等）		
15	担当課の評価	一部見直し	民間主導による協議会運営という観点から委託は一つの方法と考える。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所市民窓口係				事業No.	214
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳町事務所庁舎等管理費						
2	負担割合	10%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等							
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～					
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ					
		細節	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する					

7	事業目的	高柳町事務所の維持管理を行う						
8	平成 29 年度の実績	庁舎の維持管理委託等を実施し、施設の維持管理を図った。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	地域の拠点である事務所を維持することで住民の安心を図ることができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	12,169	10,634	10,687
		決算額	11,531	10,182	
12	当該事業に係る人件費	3,950 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：建設から 20 年以上が経過しており、老朽化に伴う継続的な維持管理が必要
		他事業と統合	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	地域住民からの存続要望の高い施設である。現在とおり維持していく。		
15	担当課の評価	継続	行政・医療・コミセン・消防署（分遣所）と複合的な地域の拠点施設である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所市民窓口係				事業No.	215
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳町事務所庁舎等除排雪経費						
2	負担割合	1%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等							
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～					
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ					
		細節	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する					

7	事業目的	高柳町事務所の維持管理を行う						
8	平成 29 年度の実績	除雪機の維持管理、庁舎に関連した樹木の囲い設置・撤去を行った。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	事務所周辺の排雪をすることで利用者の利便性が図られた						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	333	330	331
		決算額	212	206	
12	当該事業に係る人件費	325 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：施設の適正な維持管理のために必要
		他事業と統合	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の除排雪業務であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の除排雪業務であり、補助金化にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の除排雪業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	豪雪地域でもあり、施設の管理上、今後も除排雪経費は必要である。		
15	担当課の評価	一部見直し	豪雪地域でもあり、施設の管理上、今後も除排雪経費は必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部高柳町事務所市民窓口係	事業No.	216
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	高柳町事務所庁用車管理経費	
2	負担割合	5%	
3	対象者数	6 台の庁用車	
4	根拠法令等		
5	法定受託事務等の区分	その他	
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
		細節	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

7	事業目的	高柳町事務所が所有する庁用車の維持管理を行う						
8	平成 29 年度の実績	庁用車 6 台の定期点検を行い、安全性の確保を図った。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	庁用車の安全性を確保することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	4,463	4,080	4,152
		決算額	3,433	3,547	
12	当該事業に係る人件費	1,625 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：業務に使用する車両の適正な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：業務に使用する車両の適正な維持管理が必要
		他事業と統合	不可	理由：業務に使用する車両の適正な維持管理が必要
		委託化	不可	理由：市が所有する車両管理であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する車両管理であり、補助金化にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する車両管理であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	登録から 12 年を超える車両が 6 台中 5 台である。更新時期を見据えていく必要がある。		
15	担当課の評価	継続	事務所外へ移動するための手段として庁用車が必要なため。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所市民窓口係				事業No.	219
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳町総合センター管理費						
2	負担割合	3%						
3	対象者数	2,427 人(H29 年度利用者)						
4	根拠法令等	柏崎市高柳町総合センター設置及び管理に関する条例						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ					
		細節	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいを進める					

7	事業目的	高柳町総合センター体育館の適正な維持						
8	平成 29 年度の実績	144 件 2,427 人利用者があった。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	市民のスポーツ施設として利用が図られた。						

11	当初予算額及び決算額 (単位：千円)		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	3,649	4,500	3,348
		決算額	3,344	3,845	
12	当該事業に係る人件費	1,625 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：建設から 30 年以上が経過しており、長寿命化に向けた継続的な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：建設から 30 年以上が経過しており、長寿命化に向けた継続的な維持管理が必要
		他事業と統合	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	平成 36 年度を目途に併設される総合センター本館の解体が予定されていることから、体育館は使用状況やニーズを踏まえた機能維持を図る。		
15	担当課の評価	継続	高柳地域の唯一の屋内体育施設である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所市民窓口係				事業No.	220
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳町総合センター除排雪経費						
2	負担割合	1%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等							
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ					
		細節	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいを進める					

7	事業目的	高柳町総合センター体育館の適正な維持						
8	平成 29 年度の取組内容・実績	体育館周りの排雪処理を 1 回委託により実施した。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	施設回りの排雪をすることで施設の安全が保たれた						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	423	423	448
		決算額	0	414	
12	当該事業に係る人件費	325 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：施設の適正な維持管理のために必要
		他事業と統合	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の除排雪業務であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の除排雪業務であり、補助金化にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の除排雪業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	豪雪地域でもあり、施設の管理上、今後も除排雪経費は必要である。		
15	担当課の評価	一部見直し	豪雪地域でもあり、施設の管理上、今後も除排雪経費は必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部高柳町事務所市民窓口係	事業No.	225
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	パスポート発給事務費（高柳町）					
2	負担割合	1%					
3	対象者数	7人(H29年度申請者)					
4	根拠法令等	旅券法					
5	法定受託事務等の区分	法定受託事務費を含む事業					
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～				
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ				
		細節	⑥-3-1 自治機能を強化する				

7	事業目的	パスポートの受付及び交付					
8	平成 29 年度の実績	パスポート発給を 7 件行った。					
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値
		-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値
		-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	高柳町地内および近傍住民の旅券の発給申請と旅券の引き渡しが行われた。					

11	当初予算額及び決算額 (単位：千円)		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	9	11	11
		決算額	0	5	
12	当該事業に係る人件費	325 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：県から移譲されたもの
		廃止	不可	理由：県から移譲されたもの
		他事業と統合	不可	理由：県から移譲されたもの
		委託化	一部可	理由：民営化の余地がある
		補助金化	不可	理由：県から移譲されたもの
		民間実施	不可	理由：県から移譲されたもの
14	課題・今後の方向性	少子高齢化が進む中、地域の方々の利便性を図っていく必要がある		
15	担当課の評価	継続	本庁まで遠距離であり、利便性を図る必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	631
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳産業福祉会館管理事業						
2	負担割合	1%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	新潟県柏崎市高柳産業福祉会館設置及び管理に関する条例						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業をを活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める					

7	事業目的	指定管理者（高柳町商工会）による高柳産業福祉会館の円滑な運営と適正な維持管理を行い、住民福祉の向上と、地域交流促進、地場産業の振興を図る。						
8	平成 29 年度の実績	商工関係者、地域活動団体等を中心に、延べ 94 件、2,119 人が利用した。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	指定管理代行料の範囲内で、施設の円滑な運営と維持管理を実施することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	7,708	9,357	4,450
		決算額	4,350	5,970	
12	当該事業に係る人件費	260 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		他事業と統合	不可	理由：指定管理制度により運営する施設であり統合は管理上困難
		委託化	不可	理由：指定管理者制度により管理しているが、事業全般を委託することは難しい
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	利便性の高い施設ではあるが、利用者は年々減少傾向にあり今後も大幅な増加は見込めない状況。また、建設から30年以上が経過しており、老朽化も進み維持に必要なコスト上昇は避けられない状況にある。		
15	担当課の評価	継続	利用者は減少傾向にあるものの、利便性の高い施設であり、各種会合等での利用も多い。類似施設も少ないことから、施設の運営及び維持管理は必要。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	665
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	農林水産物加工研究施設管理事業						
2	負担割合	1%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等							
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-2 農林水産業の持続性を高める					

7	事業目的	農林水産物の加工研究により、6次産業化の推進を図る。						
8	平成29年度の実績	農業の6次産業化に向けて、笹だんご、かぐら南蛮塩麴漬、そば粉等の農産物の加工に取り組む農業者の利用に供した。延べ62件、341人が利用した。						
9	評価指標	指標1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成29年度の成果	施設の適正な維持管理を実施することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	760	754	693
		決算額	575	495	
12	当該事業に係る人件費	260 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要	
		廃止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要	
		他事業と統合	不可	理由：類似する施設もなく、管理上統合は困難	
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、委託にそぐわない	
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、補助金化にそぐわない	
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、民間実施にそぐわない	
14	課題・今後の方向性	建設から30年が経過しており、老朽化も進み維持に必要なコスト上昇は避けられない状況にある。			
15	担当課の評価	継続	当該施設を拠点に研究開発・製造された農産加工品は、一定の評価を得ており、高柳町地域の魅力向上にも寄与している。農家団体の活性化にもつながることから、施設の継続的な維持管理が必要。		
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止		
		評価内容			

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	768
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳地域共同作業施設管理費						
2	負担割合	1%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等							
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～					
		節	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ					
		細節	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する					

7	事業目的	高柳町地域の農業関係者の共同作業等による余剰労働力の活用と農家所得の向上を図る。条例廃止により施設の方向性が決定されるまで管理費のみを計上。						
8	平成 29 年度の実績	施設の適正な維持管理に努めた。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	施設の適正な維持管理を実施することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	124	129	129
		決算額	74	883	
12	当該事業に係る人件費	260 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		廃止	可	理由：利活用方法の検討結果により、譲渡または廃止となった場合廃止可能
		他事業と統合	不可	理由：施設の適正な維持管理が必要
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	利用者・利用希望者はなく、施設の老朽化も進み維持管理が困難。譲渡や解体撤去も含め施設の今後の利活用に向けた検討が必要。		
15	担当課の評価	継続	施設の方向性が決定するまで継続。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部高柳町事務所地域振興班	事業No.	770
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	地域活性化イベント支援事業（高柳町）	
2	負担割合	10%	
3	対象者数	-	
4	根拠法令等		
5	法定受託事務等の区分	その他	
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

7	事業目的	高柳町地域で実施するイベントの支援により、高柳町地域の情報や魅力を発信し、交流人口の増大と地域の活性化を図る						
8	平成 29 年度の実績	「狐の夜祭り」750 千円、「産業文化まつり」700 千円、「高柳雪まつり YOU・悠・遊」3,000 千円の負担金を支出。観客数は狐の夜祭り 3,200 人、産業文化祭り、2,800 人、雪まつり 4,500 人						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	市内外から昨年度を上回る多くの来場者があり、高柳地域の情報・魅力発信につながる地域に根付いたイベントとして展開することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	4,450	4,450	4,450
		決算額	4,450	4,450	
12	当該事業に係る人件費	2,600 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：高柳町地域の代表的なイベントであり、廃止により、魅力低下、観光入込客数の減少及び地域活力の衰退につながるものと考えられる
		廃止	不可	理由：高柳町地域の代表的なイベントであり、廃止により、魅力低下、観光入込客数の減少及び地域活力の衰退につながるものと考えられる
		他事業と統合	不可	理由：高柳町地域の代表的なイベントであり、廃止により、魅力低下、観光入込客数の減少及び地域活力の衰退につながるものと考えられる
		委託化	不可	理由：民間の実行委員会に対し負担金として支出
		補助金化	不可	理由：民間の実行委員会に対し負担金として支出
		民間実施	不可	理由：民間のイベント実行委員会に対し負担金として支出
14	課題・今後の方向性	産業文化祭り、雪まつりについては、高柳町事務所職員の負担も多いことから、イベントの実施、運営体制について、検討する必要がある。		
15	担当課の評価	継続	高柳町地域を代表するイベントであり、地域の魅力・情報発信や交流人口増加、地域活性化に向け、今後も継続して実施することが望ましい。 なお、イベントの運営体制については今後検討が必要。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	772
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	誘客宣伝事業（高柳町）						
2	負担割合	1%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	新潟県柏崎市高柳町観光協会補助金交付要綱						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業をを活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する					

7	事業目的	高柳町地域の交流観光情報や魅力を適時・適切に発信することで、誘客を図り、交流人口の増大を図る。						
8	平成 29 年度の実績	高柳町域外に居住する市民及び市外から訪れる観光客に対し、高柳町観光協会と地域内の観光案内用リーフレットやチラシの作成及び関係施設における配布を協働で行った。また、高柳町観光協会が行う誘客宣伝活動事業に係る経費の一部を補助した。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		交流観光施設等への入込客数	人	236,051	233,536	240,000	240,000	平成 31 年度
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	非常勤職員を採用し、地域内の情報を収集するとともに、市ホームページ等を活用し情報発信を行い、市内外からの誘客が図られた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	2,847	2,839	2,743
		決算額	2,500	2,700	
12	当該事業に係る人件費	260 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：高柳町観光協会との協議が必要	
		廃止	不可	理由：高柳町観光協会との協議が必要	
		他事業と統合	可	理由：グリーンツーリズム推進事業、地域活性化対策事業、交流観光促進事業、誘客宣伝事業との統合に向け検討中	
		委託化	不可	理由：非常勤職員の賃金及び事務的経費であり、委託にそぐわない	
		補助金化	一部可	理由：高柳町観光協会の事業に対し補助金支出。その他は、非常勤職員の賃金及び事務的経費であり、補助金にそぐわない	
		民間実施	一部可	理由：高柳町観光協会との協議が必要	
14	課題・今後の方向性	定期的なイベント連絡会議の開催による情報共有により、旬の情報が、事務所に集まる仕組みづくりのための関係団体の意識の統一が必要となる。			
15	担当課の評価	一部見直し	高柳町地域の観光・魅力等の情報発信や誘客宣伝活動を支援するために必要だが、事務事業内容について高柳町観光協会との協議が必要。他事業との統合に向け検討中。		
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止		
		評価内容			

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	773
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	じよんのび村管理費						
2	負担割合	12%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	新潟県柏崎市家族旅行村設置及び管理に関する条例						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する					

7	事業目的	指定管理者（㈱じよんのび村協会）による家族旅行村（じよんのび村等）の円滑な運営と適正な維持管理を行い、来訪者に安全・安心で快適な環境を提供する。						
8	平成 29 年度の実績	引湯管洗浄、点検、周辺環境整備等の維持管理に努めるとともに、老朽化が進む施設の修繕を実施した。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	施設の適正な維持管理を実施することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	7,603	11,068	10,882
		決算額	14,951	13,843	
12	当該事業に係る人件費	3,120 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：建設から 20 年以上が経過しており、長寿命化に向けた継続的な維持管理が必要
		廃止	不可	理由：建設から 20 年以上が経過しており、長寿命化に向けた継続的な維持管理が必要
		他事業と統合	不可	理由：指定管理制度により運営する施設であり統合は管理上困難
		委託化	不可	理由：維持管理業務の一部を委託しているが、事業全般を委託することは難しい
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：指定管理者制度により運営。市の施設であるため、大規模修繕等も含め、維持管理は市が対応
14	課題・今後の方向性	「じよんのび村」の施設・設備は、整備してから 20 年以上が経過しており、これまで、施設の安全性や快適性、各種法令との適合性の確保に必要な施設・設備の改修・修繕などに随時対応してきた。今後も、計画的に改修等を行っていく必要がある。		
15	担当課の評価	継続	集客力のある施設であり、利用者の満足度向上に向けた維持管理に取り組む必要がある。運営面で厳しい状態が続いており、ソフト面での支援も必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	774
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	じよんのび村整備費						
2	負担割合	8%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	新潟県柏崎市家族旅行村設置及び管理に関する条例						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する					

7	事業目的	施設の安全性と快適性を確保し、利用満足度を維持・向上させることで、入込客数の安定と増大を図る。						
8	平成 29 年度の実績	じよんのび村萬歳楽客室（13室）の床改修工事を実施した。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	改修工事の実施により、施設の快適性を確保することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	9,000	6,500	61,600
		決算額	4,599	5,886	
12	当該事業に係る人件費	2,080 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：建設から20年以上が経過しており、長寿命化に向け計画的な改修が必要
		廃止	不可	理由：建設から20年以上が経過しており、長寿命化に向け計画的な改修が必要
		他事業と統合	不可	理由：指定管理制度により運営する施設であり統合は管理上困難
		委託化	不可	理由：市が所有する施設の整備事業であり、委託にそぐわない
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の整備事業であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：指定管理者制度により運営。市の施設であるため、大規模修繕等も含め、維持管理は、市が対応
14	課題・今後の方向性	「じよんのび村」の施設・設備は、整備してから20年以上が経過しており、これまで、施設の安全性や快適性、各種法令との適合性の確保に必要な施設・設備の改修・修繕などに随時対応してきた。今後も、計画的に改修等を行っていく必要がある。		
15	担当課の評価	継続	集客力のある施設であり、利用者の満足度向上に向けた維持管理に取り組む必要がある。運営面で厳しい状態が続いており、ソフト面での支援も必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）		市民生活部高柳町事務所地域振興班				事業No.	775
---------------	--	------------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	高柳町地域交流観光施設管理費						
2	負担割合	6%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等	新潟県柏崎市ふるさと体験村設置及び管理に関する条例						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する					

7	事業目的	高柳町地域の交流観光施設（黒姫キャンプ場、門出パーク、門出・荻ノ島かやぶきの里、旧月湯女荘、案内看板等）の適切な維持管理を行い、来訪者に安全・安心で快適な環境を提供する。						
8	平成 29 年度の実績	周辺環境整備、修繕、看板撤去等を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	施設の適正な維持管理を実施することができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	2,289	3,129	3,641
		決算額	2,009	3,477	
12	当該事業に係る人件費	1,560 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由： 計画的な施設の維持管理が必要
		廃止	不可	理由：計画的な施設の維持管理が必要
		他事業と統合	不可	理由：市が所有する施設の管理業務であり統合は管理上困難
		委託化	不可	理由：維持管理業務の一部を委託しているが、事業全般を委託することは難しい
		補助金化	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、補助金にそぐわない
		民間実施	不可	理由：市が所有する施設の維持管理業務であり、民間実施にそぐわない
14	課題・今後の方向性	交流観光施設の多くは建設から 20 年以上が経過しており、これまで、施設の安全性や快適性、各種法令との適合性の確保に必要な施設・設備の改修・修繕などに随時対応してきた。今後も、計画的に改修等を行っていく必要がある。		
15	担当課の評価	継続	利用者の満足度向上に向け、計画的な維持管理に取り組む必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：高柳町）

担当部署名（部・課・係名）	市民生活部高柳町事務所地域振興班	事業No.	778
---------------	------------------	-------	-----

1	事業名	交流観光促進事業						
2	負担割合	2%						
3	対象者数	-						
4	根拠法令等							
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ					
		細節	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する					

7	事業目的	じよんのびだよりにより高柳町地域の魅力や情報を発信し、高柳町地域への来訪者の増大を図る。						
8	平成 29 年度の実績	年 3 回発行のじよんのびだよりにおいて、交流観光促進のための高柳町地域の魅力や情報の発信を実施している。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		交流観光施設等への入込客数	人	236,051	233,536	240,000	240,000	平成 31 年度
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	じよんのび便りを発行することにより、高柳地域の交流観光促進のための情報発信をすることができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	1,870	1,870	1,870
		決算額	1,870	1,870	
12	当該事業に係る人件費	520 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：高柳町に特化した情報誌であり、魅力発信ツールとしての効果は高い
		廃止	不可	理由：高柳町に特化した情報誌であり、魅力発信ツールとしての効果は高い
		他事業と統合	可	理由：グリーンツーリズム推進事業、地域活性化対策事業、交流観光促進事業、誘客宣伝事業との統合に向け検討中
		委託化	不可	理由：じよんのび便り作成業務として民間に委託
		補助金化	不可	理由：じよんのび便り作成業務として民間に委託
		民間実施	不可	理由：じよんのび便り作成業務として民間に委託
14	課題・今後の方向性	定期購読者数が近年、減少傾向にある。平成 4 年発刊から 20 年以上が経過し、見直しが必要ではあるが、定期購読者もいるため発刊中止には惜しむ人達もいることから、説明を要す場合がある。		
15	担当課の評価	一部見直し	定期購読者数が減少傾向にあり、発行部数、紙面の見直し等が必要。他事業との統合に向け検討中。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：景観形成）

担当部署名（部・課・係名）		都市整備部都市政策課都市計画係				事業No.	885
---------------	--	-----------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	景観形成推進事業						
2	負担割合	14%						
3	対象者数	—						
4	根拠法令等	景観法、柏崎市景観条例						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる					
		細節	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する					

7	事業目的	市民一人一人の景観形成に向けた意識を高め、市民・事業者・行政の協働による柏崎らしい景観をつくり上げていくことを目指す。						
8	平成 29 年度の実績	景観セミナーを1回（参加者数：43人）、小路看板デザインワークショップを6回（参加者数：延べ95人）実施した。また、14回の景観アドバイザー会議を開催し、116件の案件を審査し、16件について、助言・指導を実施した。						
9	評価指標	指標1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	景観アドバイザー相談会を開催し、届出に対し専門的な見地から指導・助言を行った。景観を生かしたまちづくりの講演会を開催し、景観の重要性を周知できた。またワークショップで歩行者サイン計画を策定でき、市民の景観に関する意識醸成を図ることができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	1,438	4,782	1,537
		決算額	801	3,647	
12	当該事業に係る人件費	4,550 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：景観形成は単発的に行える事業ではなく、継続的に景観向上のために取り組む必要があるため
		廃止	不可	理由：良好な景観はまちへの誇りと愛着を醸成し、交流人口獲得に一定の効果があるため
		他事業と統合	不可	理由：景観アドバイザー制度は条例により設置のため統合不可。観光、生涯学習との連携は必要だが、事業主旨が異なるため統合できない。
		委託化	不可	理由：市（景観行政団体）が直接行うべき事業内容のため（景観法第4条）
		補助金化	不可	理由：市（景観行政団体）が直接行うべき事業内容のため（景観法第4条）
		民間実施	不可	理由：市（景観行政団体）が直接行うべき事業内容のため（景観法第4条）
14	課題・今後の方向性	今後も景観まちづくりに対する市民意識の更なる醸成を図りながら、景観条例による規制と誘導により、景観計画に沿った良好な景観形成を推進していく必要がある。		
15	担当課の評価	継続	まちへの誇りと愛着の醸成するためには、景観法に基づいた景観行政団体等として、柏崎市景観条例や柏崎市景観計画に沿って、長期的視点での魅力あるまち並み景観を形成、誘導、保全、活用していくことが必要である。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：景観形成）

担当部署名（部・課・係名）	都市整備部都市政策課都市計画係	事業No.	886
---------------	-----------------	-------	-----

1	事業名	景観審議会経費
2	負担割合	5%
3	対象者数	景観審議会委員 10 名
4	根拠法令等	景観法、柏崎市景観条例
5	法定受託事務等の区分	その他
6	第五次総合計画との整合性	章 ⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
		節 ⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
		細節 ⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

7	事業目的	市長の諮問に応じ、景観形成に関する事項の調査及び審議を行う。						
8	平成 29 年度の実績	柏崎市景観審議会を 1 回開催した。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	景観審議会では景観計画、景観条例の規制・誘導状況（初年度）を委員に報告し、次年度以降の運用に関する助言を受けることができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額	217	211	205
		決算額	64	57	
12	当該事業に係る人件費	1,625 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：法と条例により景観形成に関する事項について、調査・審議を行うことが規定されているため
		廃止	不可	理由：法と条例により景観形成に関する事項について、調査・審議を行うことが規定されているため
		他事業と統合	不可	理由：市景観条例に基づき設置しているため
		委託化	不可	理由：市景観条例に基づき設置しているため
		補助金化	不可	理由：市長附属機関であるため
		民間実施	不可	理由：市長附属機関であるため
14	課題・今後の方向性	今後も景観形成に関する事項を審議する市の附属機関として継続する必要がある。		
15	担当課の評価	継続	景観計画に基づく景観形成に関する事項を公平性・透明性を確保しながら審議し、市民の意見を反映する場として必要である。また、廃止する合理的な理由はなく、市付属機関であることから委託化、補助金化の代替手段もない。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：景観形成）

担当部署名（部・課・係名）		都市整備部都市政策課都市計画係				事業No.	887
---------------	--	-----------------	--	--	--	-------	-----

1	事業名	景観形成支援事業						
2	負担割合	8%						
3	対象者数	景観形成重点地区人口 191 人（椎谷、荻ノ島） 景観形成団体 現 1 団体（市内全域が対象）						
4	根拠法令等	柏崎市景観条例、柏崎市景観形成支援事業補助金交付要綱						
5	法定受託事務等の区分	その他						
6	第五次総合計画との整合性	章	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～					
		節	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる					
		細節	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する					

7	事業目的	良好な景観（地域固有の美しい景観）形成に取り組む活動に対し、必要な技術的支援及び費用の一部を補助することで、市民主体の景観まちづくり活動を推進する。						
8	平成 29 年度の実績	建築物の修景整備 5 件、景観まちづくり活動 1 件、合計 6 件に補助金を交付した。茅葺屋根の修理や景観資源の解説に専門的指導を行い、これらの成果をまとめた広報誌を 4 回発行し、景観資源活用の周知に努めた。						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		景観形成支援事業の累計件数（補助事業）	件	-	6	5	20	平成 33 年度
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		-	-	-	-	-	-	-
10	平成 29 年度の成果	良好な景観形成のための建築補助金及び活動補助金の交付や景観保全の技術支援を行ったことで、景観の向上と来街者への地域資源の活用を促す拠点づくりができた。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額		2,299	2,149
		決算額		1,780	
12	当該事業に係る人件費	2,600 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由：単発的、断片的では、良好な景観形成ができず、先導的な景観形成を継続的かつ段階的に拡大するため
		廃止	不可	理由：継続的な景観まちづくり活動は、景観形成を推進し、まちへの誇りと愛着が醸成されることで交流人口獲得に一定の効果があるため
		他事業と統合	不可	理由：柏崎市景観形成支援事業補助金交付要綱で他事業との補助金は重複できないため
		委託化	不可	理由：柏崎市景観形成支援事業補助金交付要綱に基づくため
		補助金化	不可	理由：民間への補助事業であるため
		民間実施	不可	理由：民間への補助事業であり、市が直接行うべき事業内容のため
14	課題・今後の方向性	良好な景観は、まちへの誇りと愛着を醸成し、地域の価値が高まることから、今後も景観法に基づく景観行政団体として、市景観条例、景観計画に沿って、地域の特性に応じた魅力ある景観形成に取り組み、景観まちづくりを推進する必要がある。		
15	担当課の評価	継続	景観重点地区においては、地域固有の景観の向上や保全、景観拠点の創出とその活用、交流人口確保に向けた協働の取り組みを行っており、長期的視点で柏崎の先導的な役割として、今後も行政と地域で協働して魅力ある景観を形成、保全、活用していく必要がある。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		

外部評価対象事業 事業評価シート（グループ名：景観形成）

担当部署名（部・課・係名）	都市整備部都市政策課都市計画係	事業No.	888
---------------	-----------------	-------	-----

1	事業名	景観形成整備事業
2	負担割合	6%
3	対象者数	—
4	根拠法令等	柏崎市景観条例
5	法定受託事務等の区分	その他
6	第五次総合計画との整合性	章 ⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
		節 ⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
		細節 ⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

7	事業目的	学校教育や住民主体の景観、郷土学習に活用できる総合案内板や歩行者サインを整備することで、まちへの誇りと愛着を醸成し、良好な景観資源を確実に継承できる環境づくりを進める。						
8	平成 29 年度の実績	-						
9	評価指標	指標 1 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		小路歩行者サイン整備基本計画に沿った総合案内板の設置数	基	-	-	2	3	平成 33 年度
		指標 2 名称	単位	28年度	29年度	30年度	目標値	目標年度
		小路歩行者サイン整備基本計画に沿った路面埋め込みサインの設置数	箇所	-	-	-	20	平成 33 年度
10	平成 29 年度の成果	中央地区小路歩行者サイン計画ワークショップを実施（景観形成推進事業）し、景観まちづくりの理念、利活用計画、配置計画、デザイン及び設計を行った。						

11	当初予算額及び決算額 （単位：千円）		28年度	29年度	30年度
		当初予算額			1,200
		決算額			
12	当該事業に係る人件費	1,950 千円			

13	休廃止等の可否とその理由	休止	不可	理由： 景観及び郷土学習の普及啓発に資する案内板等の整備は、利活用の進捗にあわせて段階的に進める必要があるため
		廃止	不可	理由：案内板等を設置することにより、景観及び郷土学習等に活用され、良好な景観資源を確実に継承できる環境ができるため
		他事業と統合	不可	理由：景観啓発を目的とした事業であり、統合できそうな事業がないため
		委託化	不可	理由：市が整備すべき施設（工事費）のため
		補助金化	不可	理由：市が整備すべき施設（工事費）のため
		民間実施	不可	理由：市が整備すべき施設（工事費）のため
14	課題・今後の方向性	景観形成推進地区である中央地区で、案内板等の整備を段階的に進める。併せて景観形成の普及啓発活動を行い、地域の特性に応じた魅力ある景観を市民自らが主体となって、将来にわたり確実に継承できる環境づくりが必要である。		
15	担当課の評価	一部見直し	本事業は住民によるワークショップを基に作成した「歩行者サイン計画」に基づくものだが、道路占用や借地が必要なサイン柱整備計画については、形状変更又は取りやめを含む見直しが必要と考えている。	
16	市長による峻別結果	峻別結果	継続 ・ 一部見直し ・ 休止 ・ 廃止	
		評価内容		